

特集

# 人と社会のWell-beingを 可能にする 研究開発の取り組み

NTTでは、デジタルとリアル融合が進むこれからの世界において、すべての“ひと”が身体・心・精神の健康という両面が満たされた、Well-beingな情報化社会の実現に向けた研究開発を進めている。本特集では、人と社会、デジタルとリアル、体と心・精神の健康といった、さまざまな切り口でのWell-being実現に向けた取り組みを紹介する。

Well-being

分散型社会

健康科学

Self-as-We

情 動

## Well-being of people and

## Well-beingなデジタル・リアル融合社会に向けた取り組み ————— 10

情報通信技術の発展に伴う社会のデジタル化を振り返り、今この時代に求められるWell-beingなデジタル・リアル融合社会とはどのようなものか、また、そのために行っているNTT研究所の取り組みを紹介する。

## Social Well-being : 個人の自律と集団の調和を利他的に共存できるつながり ————— 14

デジタル・リアル融合の分散型社会において、個人の自律と集団の調和の利他的な共存を可能にするSocial Well-beingのコンセプトと、人文・社会科学的知見と技術的基盤に資する4つの取り組みを紹介する。

## 生涯健康をサポートするWell-being健康科学 ——心身のリズムを可視化し、自分なりに整える ————— 18

生涯健康で過ごせるWell-being社会の実現をめざし、基本的な生活習慣（食事・運動・睡眠）における個人の日常データを可視化し、自分なりに心身のリズムを自己調節するWell-being健康科学研究について紹介する。

## 人デジタルツイン×Well-being ————— 21

人の外面だけでなく価値観や思考など内面まで再現する、人デジタルツインのグランドチャレンジ「Another Me」「感性コミュニケーション」におけるWell-beingに向けた取り組みを紹介する。

## 人々のWell-beingの理解と向上をめざした人間情報科学研究 ————— 24

現在NTTコミュニケーション科学基礎研究所が進めている、情動を基点としたWell-beingの理解と実現に関する研究について紹介する。

## 主役登場 赤堀 渉（NTT社会情報研究所） ————— 29

Well-beingのための情報通信技術のデザインをめざして

# society